

まえがき

北京日本学研究中心では 1990 年に日本語研修コース修了生の優秀小論文を収めた『日本学論叢』の創刊号を刊行して以来、同研究コース修了生小論文と大学院修士課程卒業生の修士論文の中から優秀なものを選んで掲載してきた。本刊はその 11 冊目に当たり、第 11 期修士課程大学院生の修士論文 8 編を収めている。第 11 期修士論文審査は、1997 年 12 月に中日双方の答弁委員による論文答弁を経て可否が下され、1998 年 3 月に正式に学位が授与された。本論文集に掲載されたものは、論文審査後 20 編の論文の中から優秀論文として推薦され、最終的に編集委員会で審査されたものである。

『日本学論叢』はこの第 11 号をもって終刊とし、本刊が果たしてきた役割は今後、同じく本センターが刊行している『日本学研究』に引き継がれることになっている。本刊は過去 10 年間にわたってセンターを修了・卒業した学生の実質的な学界デビュー作を掲載してきたが、本号に収録されている論文も、終刊号を飾るにふさわしい若い研究者の力作ばかりである。

編集委員会
1999 年 7 月